

I. 総括研究報告

診療情報データベースを用いた帯状疱疹の疫学等に関する研究

研究代表者 池田 俊也（国際医療福祉大学医学部 教授）

研究要旨

研究目的: 本研究では、診療情報データベース（NDB（National DataBase）の医科レセプト及び DPC（Diagnosis Procedure Combination）レセプトのサンプリングデータ、ならびに医科レセプトの集計表情報を用いて、帯状疱疹に関する診療情報を分析し、現在の全国での疾病負荷を推計するとともに、帯状疱疹の診療にかかる費用の全体像を把握し、以て定期接種導入の議論に必要な科学的知見を提供することを目的とした。

研究方法: 2012 年 1 月から 3 ヶ月ごと、2015 年 10 月までの 16 ヶ月分の NDB サンプリングデータ（入院外、DPC、入院）、ならびに 2010 年 4 月から 2017 年 10 月までの 91 ヶ月分の NDB データ（入院外）の集計表情報より、帯状疱疹と帯状疱疹後神経痛の患者数と費用ならびに都道府県別の受療率等について分析を行った。

結果: 2016 年 11 月から 2017 年 10 月の 1 年間の帯状疱疹入院外初診患者数は、男性 628,554 人、女性 901,165 人であった。年齢階級別に見ると、65 歳以上の患者数が多かった。患者数は増加傾向にあり、季節変動が認められた。入院外医療費の合計点数は一ヶ月平均 2268.89 点であったが、帯状疱疹の病名が付いた患者が同一月に他疾患の治療を受けた場合の費用も含まれていることに留意する必要がある。入院・DPC データの分析では、やはり高齢の患者が多かった。

まとめ: NDB などレセプトを用いた解析では、病名の正確性などの課題はあるが、今回の分析では新たな大規模調査を実施することなく全国的な発生動向や疾病負担をある程度明らかにすることができたことから、NDB を用いた疫学情報の分析の有用性が示されたものと考えられる。

研究分担者氏名・所属施設名及び職名

白岩 健（国立保健医療科学院 主任研究官）

A. 研究目的

今般、帯状疱疹の発症予防を目的とした帯状疱疹ワクチンが承認され、厚生科学審議会にお

いて、定期接種に位置付けることの是非に関する検討が開始された。過去に報告された様々な科学的知見を収集・整理したファクトシートに基づいた議論が行われたが、十分に把握されていない科学的知見等として、全国レベルでの疾病負荷が把握されていないこと、帯状疱疹の治療の現状や診療にかかる費用の現状が十分に明

らかとなっていないこと、それらに基づく国内の状況を踏まえた定期接種導入により期待できる効果や費用対効果の推計がなされていないこと、が指摘された。

本研究では、診療情報データベース（NDB（National DataBase）から医科レセプト及びDPC（Diagnosis Procedure Combination）レセプト等）等を用いて、带状疱疹に関する診療情報を分析し、現在の全国での疾病負荷を推計するとともに、带状疱疹の診療にかかる費用の全体像を把握し、以て定期接種導入の議論に必要な科学的知見を提供することを目的とした。

B. 研究方法

2012年1月から3ヶ月ごと、2015年10月までの16ヶ月分のNDBサンプリングデータ（入院外、DPC、入院外）を用いて、带状疱疹ならびに带状疱疹後神経痛の患者数ならびに費用を算出した。病名については疑い病名を除き、診療開始日をもとに初診と判断した。NDBサンプリングデータは入院とDPCについては10%抽出、入院外については1%抽出である

さらに、2010年4月から2017年10月までの91ヶ月分のNDBデータ（入院外）より、带状疱疹の初診患者数（男女別・年齢階級別、都道府県別）の集計表情報の提供を受けた。これをもとに、带状疱疹患者数の推移ならびに都道府県別の受療率について分析を行った。

なお、带状疱疹の診療開始日が当該月である場合に、初診患者とみなした。

C. 研究結果

サンプリングデータより集計した 毎月の帯

状疱疹患者数、带状疱疹新患者数、带状疱疹後神経痛患者数、带状疱疹後神経痛新患者数の推移を図1に示した。

入院外データの分析においては、带状疱疹の受療患者数・新患者数ならびに带状疱疹後神経痛の受療患者数・新患者数は、季節変動とともに増加傾向にあることが確認された。带状疱疹外来患者数を年齢別に見ると、75歳以上が1ヶ月平均で1249.88人、70-75歳未満が449.50人、65-70歳未満が367.69人と、高齢の患者が多かった。

入院・DPCデータの分析では、やはり高齢の患者が多かった。

集計表情報では、2016年11月から2017年10月の1年間の带状疱疹初診患者数は、男性628,554人、女性901,165人であった。2010年4月から2017年10月の年齢階級別の患者数の推移を図2に示した。

都道府県別の人口10万あたりの受療率を表1に示した。

D. 考察

サンプリングデータを用いた入院外データの分析においては、带状疱疹の受療患者数・新患者数ならびに带状疱疹後神経痛の受療患者数・新患者数は増加傾向にあることが確認された。

入院外医療費は平均22,689円であったが、带状疱疹の病名が付いた患者が同一月に他疾患の治療を受けた場合の費用も含まれていることに留意する必要がある。なお、入院外レセプトに記載された点数であり、調剤レセプトが含まれていない。

入院・DPCデータの分析では、入院外と同様にやはり高齢の患者が多かったが、この中には

帯状疱疹が入院の原因ではない患者も含まれている。

集計情報では、年齢階級別に見ると、65歳以上の患者数が多かった。患者数は増加傾向にあり、季節変動が認められた。

都道府県ごとの受療率には一定のばらつきが認められた。たとえば平成18年11月から平成29年10月の1年間の受療率(人口10万あたり)を見ると、最小が沖縄県の995人、最大が宮崎県の1478人であった。

E. 結論

NBDなどレセプトを用いた解析では、病名の正確性などの課題はあるが、今回の分析では新たな大規模調査を実施することなく全国的な発生动向をある程度明らかにすることができことから、NDBを用いた疫学情報の分析の有用性が示されたものと考えられる。

F. 研究発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

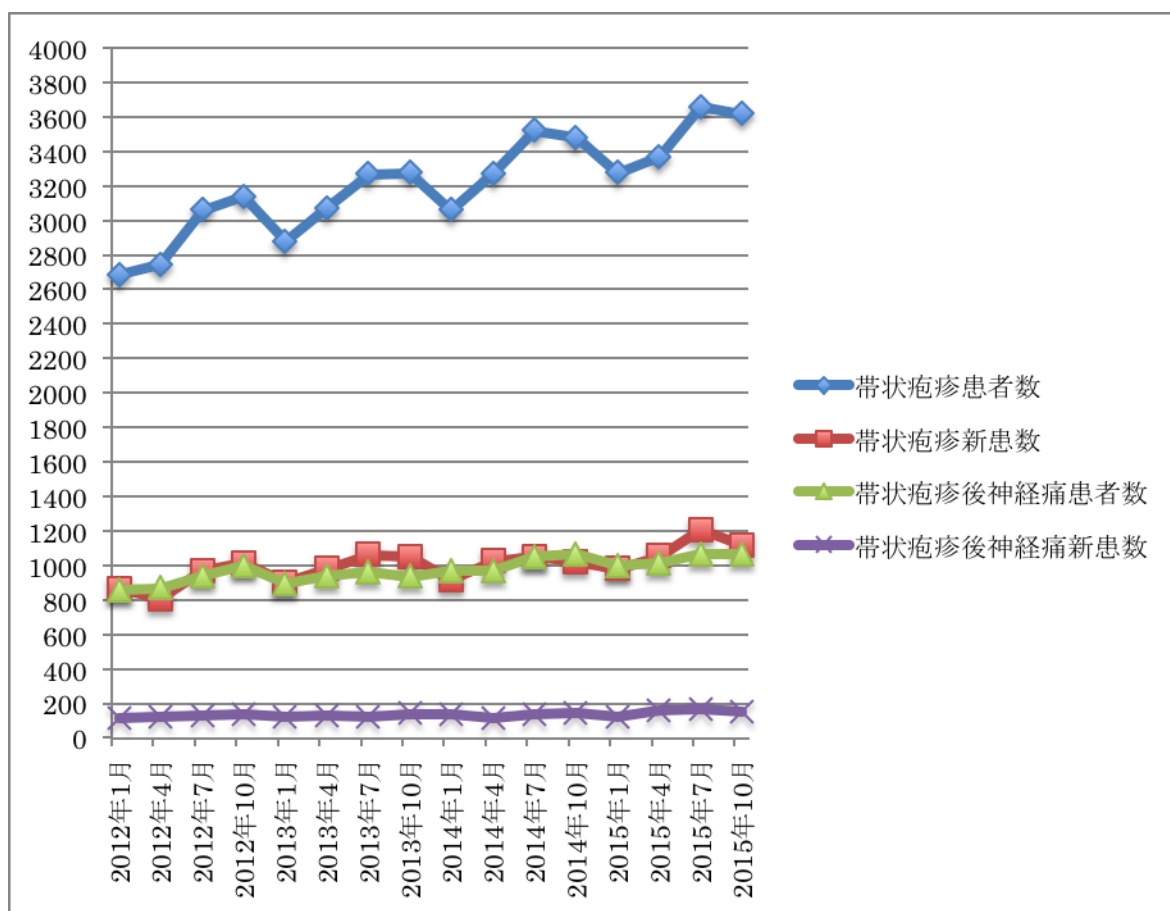


図1 带状疱疹患者数および带状疱疹後神経痛の患者数の推移 (NDB サンプルングデータより集計、入院外レセプト1%抽出)

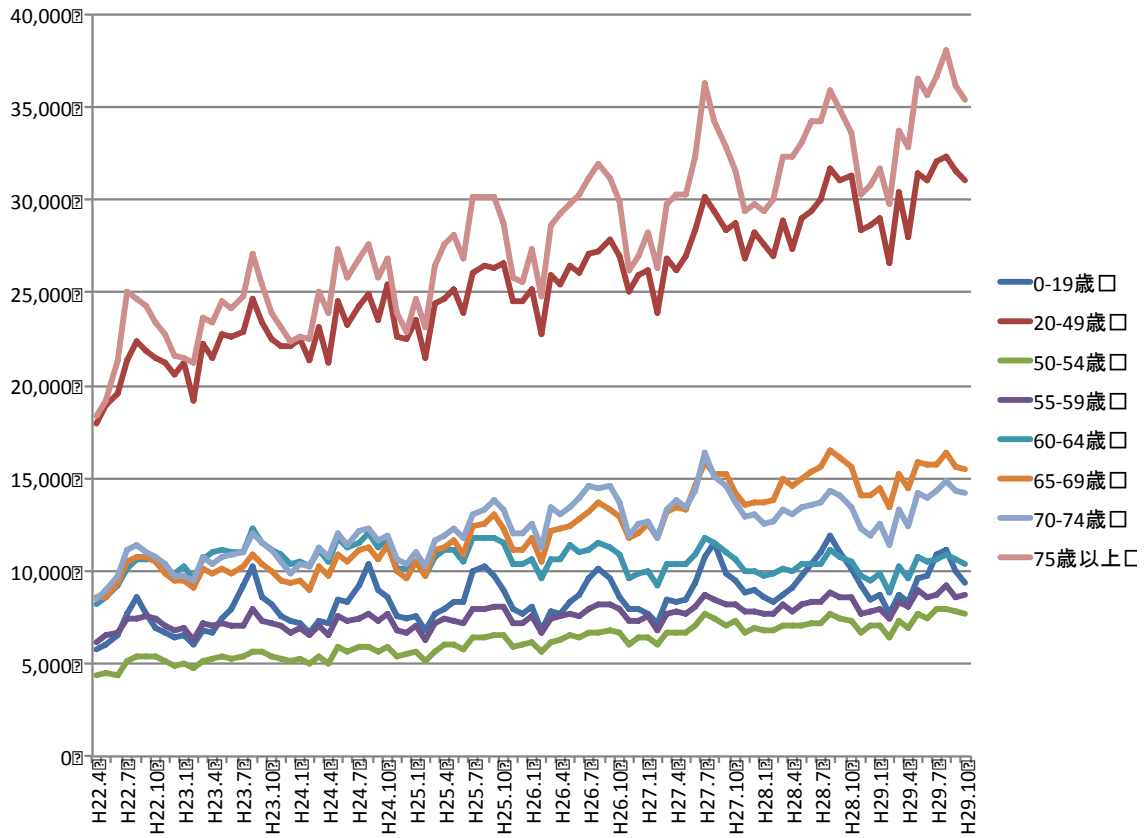


図2 年齢階級別患者数の推移 2010(H22).4～2017(H29).10

表1 都道府県別の人口10万あたりの受療率（初診）

	月平均	人口10万人当 たり	直近1年合計	人口10万当 たり	65歳以上直近1 年合計	65歳以上人口 10万当たり
日本全体	111,234	87.5	1,529,719	1207	747,723	2127
北海道	5,097	94.7	69,535	1307	36,754	2252
青森県	1,228	93.9	16,394	1283	8,535	2097
岩手県	1,056	82.5	14,699	1171	7,822	1956
宮城県	2,069	88.7	28,363	1221	13,367	2118
秋田県	1,019	99.6	13,917	1397	7,687	2171
山形県	1,097	97.6	14,551	1320	7,333	2066
福島県	1,671	87.3	22,949	1219	11,381	2000
茨城県	2,376	81.5	31,793	1099	15,536	1897
栃木県	1,592	80.6	22,577	1154	10,925	2038
群馬県	1,647	83.5	22,173	1131	11,022	1944
埼玉県	5,312	73.1	76,112	1041	36,935	1944
千葉県	4,732	76.0	66,615	1067	33,233	1964
東京都	12,487	92.4	172,990	1260	69,957	2214
神奈川県	7,114	78.0	101,175	1105	48,665	2140
新潟県	1,942	84.3	27,361	1207	14,530	2049
富山県	918	86.1	11,829	1120	6,164	1846
石川県	972	84.2	12,934	1128	6,372	1925
福井県	680	86.4	9,145	1174	4,539	1956
山梨県	782	93.7	10,548	1282	5,341	2180
長野県	1,867	89.0	25,375	1222	13,226	2044
岐阜県	1,876	92.3	25,524	1271	12,829	2178
静岡県	3,350	90.5	44,907	1222	22,982	2150
愛知県	6,015	80.4	82,659	1098	38,236	2065
三重県	1,496	82.4	22,119	1229	11,054	2118
滋賀県	1,017	72.0	14,143	1001	6,726	1884
京都府	2,198	84.2	29,909	1151	14,971	2015
大阪府	7,753	87.7	107,440	1218	51,642	2153
兵庫県	4,928	89.0	69,000	1254	34,910	2241
奈良県	1,230	90.2	16,298	1209	8,710	2135
和歌山県	949	98.5	13,166	1393	6,895	2268
鳥取県	546	95.3	7,134	1263	3,690	2109
島根県	702	101.1	9,314	1360	4,906	2133
岡山県	1,775	92.3	23,684	1242	11,707	2065
広島県	2,918	102.6	37,523	1326	18,816	2326
山口県	1,312	93.4	17,900	1294	9,882	2139
徳島県	743	98.3	9,519	1281	5,069	2103
香川県	982	100.7	12,742	1318	6,604	2194
愛媛県	1,356	97.9	17,620	1292	9,413	2154
高知県	680	93.5	8,722	1222	4,774	1957
福岡県	4,787	93.8	67,181	1315	32,023	2314
佐賀県	834	100.1	11,796	1432	5,648	2353
長崎県	1,346	97.7	18,009	1330	9,661	2279
熊本県	1,647	92.2	23,677	1341	12,090	2277
大分県	1,146	98.3	15,681	1361	8,372	2281
宮崎県	1,275	115.5	16,091	1478	8,237	2437
鹿児島県	1,675	101.6	22,564	1388	12,046	2404
沖縄県	1,040	72.5	14,362	995	6,506	2147